



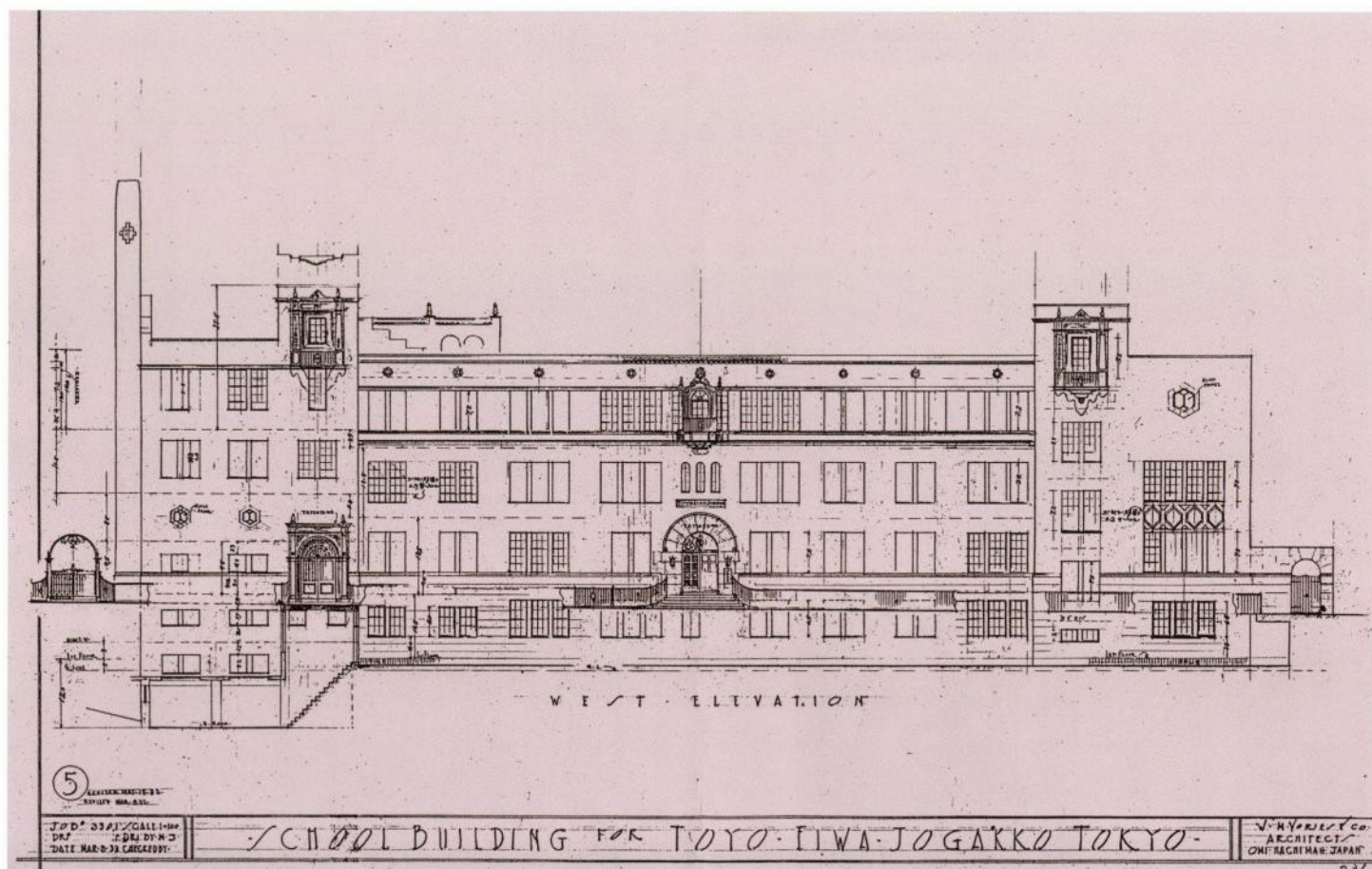
FÛ

EN

楓園

CONTENTS

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 — 特集 ヴォーリスと東洋英和 | 11 — 大学 NEWS |
| 5 — この人に聞く 竹内恵子 | 13 — 学院 NEWS |
| 6 — 聖書の言葉・英和探訪 | 14 — 行事報告 12月～2月 |
| 7 — 東洋英和幼稚園 NEWS | 15 — 学院人事 |
| 8 — かえで幼稚園 NEWS・小学部 NEWS | 17 — 2009年度行事予定 |
| 9 — 中高部 NEWS | 19 — 英和の植物通信・お知らせ |



■鳥居坂わが学び舎

ヴォーリス建築事務所による旧校舎立面図。西側の鳥居坂に面した建物正面の図面です。旧校舎は英和生にとっての「わが学び舎」として今でも多くの思い出を残しています。

祈りの建築

ヴォーリズと東洋英和

天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。

マタイによる福音書 第十三章三一〜三二節

(ヴォーリズが活動の信条とした聖句)

創立五〇周年の大事業とヴォーリズ
一九三三年、鳥居坂に一際目立つ建物が建てられました。美しいデザインの外壁や扉を持つその建物は東洋英和女学校の校舎でした。

当時の東洋英和は翌年に創立五〇周年を控え、今現在私達が親しんでいる制服・楓の校章・「敬神奉仕」の標語・校歌などが定められていきました。そして校長ミス・ハミルトンは記念すべき大事業として、全在校生が集い学ぶことができる近代的な校舎の建設に着手し、現在



ウィリアム・メレル・ヴォーリズと満喜子夫人
(提供：近江兄弟学園)



東洋英和女学校の校舎建築現場でのヴォーリズ (中央)

の中高部がある土地には小学科・高等女学科・師範科の教室を収め、東鳥居坂町二番地(現在の六本木五丁目交差点近く)には寄宿舎(青楓寮)・宣教師館・幼稚園となる建物の計画を進めていきました。そうして選ばれた設計者がウィリアム・メレル・ヴォーリズでした。

ヴォーリズが天職に再び出会うまで

ヴォーリズは滋賀県の近江八幡を拠点に伝道のための近江ミッション(後の近江兄弟社)を組織し、東洋英和から設計依頼を受けた頃にはメンソレータムの製薬販売等を手がけ、教育・医療など幅広い

活動を展開していました。その一つである建築事務所の仕事においてヴォーリズは生涯に一五〇〇もの建築設計を手がけたといえます。

今こそ建築家として名を残しているヴォーリズですが、天職ともいえる建築設計に至るまでの道のりは平坦ではありませんでした。

一八八〇年にアメリカ、カンザス州のレブンワースで生まれたヴォーリズは大学でYMCAの活動に参加するなど敬虔なクリスチャンでした。彼は建築家として身を立て、そこから得られた利益で宣教師を海外に送りたいと考えていました。ところがトロントでの海外伝道学生奉仕団世界大会に参加した際に、ヴォーリズは神秘的な体験をします。中国に宣教師として派遣され義和団事件に遭遇、夫を殺され自らも生命の危険にさらされたテイラー女史の報告を聞いた時、女史の顔がキリストの顔に変わり「お前はどのような幻を見ました。自分こそが宣教に生涯を捧げるといふミッションにヴォーリズは目覚めます。彼は建築家になることを断念し、日本の地、当時キリスト教が浸透していなかった近江八幡に英語教師として赴任します。

滋賀県立商業学校に赴任したヴォーリズのまわりにはたくさん生徒達が集うようになり、そこで彼はバイブル・クラスを開き、宣教に努めました。彼

の影響力を恐れた勢力のため、二年にして解雇されてしまいます。

しかし、ヴォーリズはこれは神の与えた試練であると考え、次の活動を模索します。そうした時に京都YMCA会館の現場監督の仕事が舞い込みます。ヴォーリズが少年の頃から抱いていた建築家になる夢がこうした形で再び彼の元に戻ってきました。ヴォーリズはその後建築事務所を設立し、全国的に仕事を広め、近江ミッションを財政的に支えていきました。そうした中、山梨英和や静岡英和、関西学院など数々のミッションスクールの設計を手がけたヴォーリズにミス・ハミルトンは校舎設計を依頼し、鳥居坂にヴォーリズ建築が誕生することになりました。



定礎式におけるヴォーリズ(右端)。当時の校長ミス・ハミルトンとともに

「米来留」と「永和」

東洋英和が創立五〇周年の祝賀ムードに包まれていたのもつかの間、卒業生の齋藤春子の夫で、大講堂の「敬神奉仕」の額を揮毫した齋藤實元首相が殺された二・二六事件が起こるなど日本は軍事色

を強めていきます。学院でも宣教師の先生方の引き揚げ帰国が始まり、一九四一年には「東洋英和」の校名も「英」の字が敵国に通じるということで「永和」に変更を余儀なくされていきます。

同じ年にヴォーリスは日本人として生きることを決意し、自らの名前を結婚相手である一柳満喜子の姓を取って「一柳米来留」とし、日本に帰化します。そして十二月には太平洋戦争が始まりヴォーリスは軍からの厳しい監視を受け、軽井沢で息を潜めて暮らさねばなりません。

一方ミス・ハミルトンも交換船で強制帰国させられ、英和の校舎の美しい柵やスチームなどの金属類も軍事使用のために供出されました。校舎には焼夷弾の流れ弾が落下し宿直の長野彌先生(後の院長)が消火にあたるなど、ヴォーリス校舎は厳しい時代を越えて終戦を迎えました。

神への祈りを守り抜いて

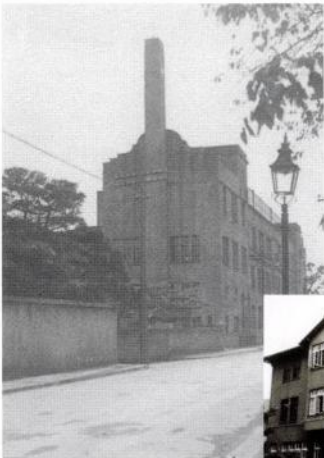
ヴォーリス夫人、一柳満喜子は東洋英和の同窓会元会長の上野美代子氏と親戚でした。身近に見たヴォーリスの思い出を上野氏は高等部同窓会の「東光会会報第三一〇号」に語っています。

満喜子夫人が一柳末徳子爵の娘で華族だったこともあり、戦中に近江兄弟社を昭和天皇の弟宮である高松宮が訪問するなどヴォーリスと皇室とは浅からぬつながりがありました。

終戦後、時の国務大臣近衛文磨より依頼され、マッカーサー元帥に天皇を擁護するように働きかける手助けをしたとされています。戦後ヴォーリスは近江八幡に戻り近江兄弟社の復興に尽力しますが、一九五七年に病に倒れ七年間の療養生活の後、一九六四年に八三歳の生涯を終えました。

東洋英和のヴォーリス校舎と二番地の宣教師館等は戦災を免れたため、終戦当時は他校より恵まれた環境が残りました。北米のプロテスタント・ミッション系学校の人気が高まり、英和は最も入学の難しい私立女子校の一つとなりました。また、学院創立以来の貴重な歴史資料が残されたのも都心にあった学校としては珍しいことでした。

ヴォーリスの建物は英和の歴史を守り抜き、宣教師館は一九八〇年まで、中高校校舎は一九九三年の解体の日まで、神への祈りに満たされつつ数々の英和生達を育み続けました。



鳥居坂に建てられたヴォーリス設計の旧校舎(上)と宣教師館(下)



ヴォーリスの町 近江八幡

滋賀県の近江八幡は、24歳で来日したヴォーリスが生涯にわたる宣教活動を決意した町でした。近江八幡には、今でもヴォーリスによる建築物が町のいたるところに残っています。ヴォーリスの建物に思い出のある方にはたくさんのなつかしい空間に出会える所でもあり、ヴォーリスの建築をご覧になったことがない方にとっても新たにその魅力を感じることができる町です。



近江兄弟社学園にあるモニュメント。ここに刻まれているのは、ヴォーリスが度々サインなどの横に描いた、丸の中央に点のマークです。これは「近江八幡は世界の中心である」というヴォーリスの信念を図像化したものでした



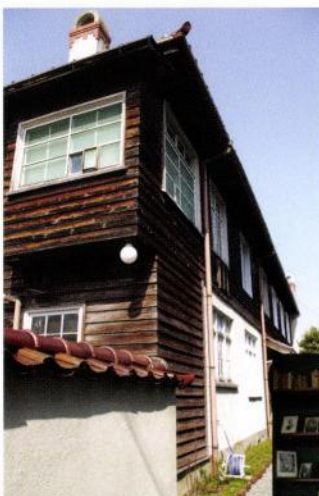
近江兄弟社学園(左 教育会館 右 ハイド記念館)



教育会館の講堂兼体育館



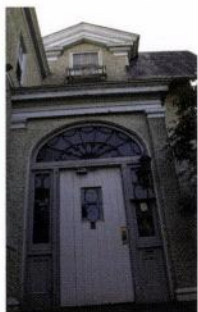
クラブハリエ 日牟禮館



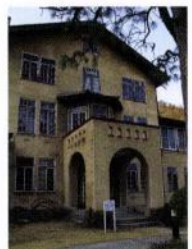
旧ヴォーリス邸(現 ヴォーリス記念館)。ヴォーリスが晩年を過ごした邸宅。ヴォーリスが暮らした様子やさまざまな資料が見られます



旧八幡郵便局舎



池田町に並ぶヴォーリスの西洋住宅、そのうちの吉田邸。ここで上野美代子同窓会元会長が疎開中にお世話になったそうです



ヴォーリス記念病院。二番地にあった英和の宣教師館を彷彿とさせます

同窓会前会長 五味澄子さんに聞く

ヴォーリス校舎誕生から解体まで

一九九三年の夏、ヴォーリス設計による東洋英和の旧校舎は大変惜しまれつつ解体されました。その当時の同窓会会長であり、旧校舎の詳細な記録書「鳥居坂わが学び舎一九三三―一九九三 東洋英和女学院校舎の記録」の制作・編集に尽力された五味澄子さんにお話をうかがいました。

ヴォーリス校舎の「あたたかみ」

―五味さんが東洋英和に入学されたのはいつ頃でしたか？

五味 私は一九三五年、小学校六年生の時に東洋英和に編入しました。ちょうど前の年が創立五〇周年の年でしたので、残念ながら五〇周年の記念品のヴォーリス校舎の文鎮が頂けませんでした(笑)。



同窓会前会長 五味澄子さん。旧校舎から引き継がれた暖炉の前で(ガーネットハウス鳥居坂にて)

新しい校舎が出来たばかり

の頃で、無味乾燥な公立小学校のコンクリート校舎から転校してきたので、英和の校舎には「あたたかみ」とか「やわらかさ」を感じましたね。

―今では全く歌われていませんが、ヴォーリス作詞による英語の校歌があったと聞きましたが。

五味 私達は歌ってましたよ。マーチ風の元気な曲でした。

―校舎で一番印象的な場所はどこでしたか？

五味 小講堂ですか…。当時は中庭をはさんで東側に小講堂がありまして、小科生全員が小講堂に集まって毎日の礼拝をしていました。大講堂で礼拝していたのは高女科の方々で、中庭の向こうはお姉様方の世界といった感じでした。行くなどは言われていませんでしたが、小生は行かなかったですね。

―当時、小学科には面白いお部屋もあったたようですね。

五味 送り迎えのお手伝いさんが控えている待合室や、歯科医院のような設備を備えた歯科治療室があつて治療を受けたりしましたね。



創立50周年につくられた文鎮。ヴォーリス校舎が刻まれています

校舎解体 同窓生が動く

―ヴォーリス校舎解体の頃のお話をうかがいたいと思います。

五味 その時分には同窓会会長をしておりましたが、消防署からの指令で老朽化した校舎を壊すことになったとうかがっています。そのような時に、卒業生の阿川佐和子さん(一九七二年卒)と同級生で当時日本大学理工学部講師でいらした莊美知子さんが、壊されるのならばせめても校舎の建築記録書を残そうということで、六月の同窓会総会に提案を出されました。同窓会では、学院が校舎を壊すことに関しては何も言えないが、しっかりと記録を残そうということで、お二人の提案を受けました。

―校舎が壊されたのは一九九三年の夏休みでしたが、その総会は六月。残された時間はわずかでしたよね。

五味 そこからはものすごいスピードで記録書作成の作業が進みました。備品や照明器具などはすでに撤去され始めていたので、撮影にあたっては男子大学生のアルバイトをお願いして講堂の椅子を並べ直して大講堂の撮影をしたり…。

―藤森照信先生をはじめ、ご協力いただいた先生方は錚々たる建築界のメンバー



ヴォーリス作詞による英語の校歌の楽譜(1934年)。曲調がジャズのようなだといって校長ミス・ハミルトンが好まなかったためか、残念ながら歌われなくなってしまいましたが、85周年の時に新たに冨岡正男先生がヴォーリスの詩に曲をつけました

でしたね。

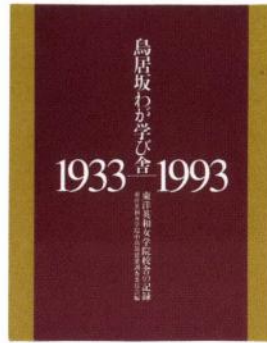
五味 莊さんの同僚だった日大理工学部の大川三雄先生が中心になって活動してくださいました。卒業生では一粒杜ヴォーリス建築事務所勤務されている松波朋子さん(一九八四年卒)や、芸大で美術を専攻し、校内のスケッチを急いで描いてくださった佐藤和子さん(一九五〇年卒)など、本当に素晴らしい方々が集まりました。

―その記録書が「鳥居坂わが学び舎」になっていくわけですが、同窓生全員に購入予約の案内とともに校舎の思い出を書くアンケートを配られましたよね。

五味 校舎へのたくさんの思い出が寄せ

られました。そのほとんどを『鳥居坂わが学び舎』に掲載しました。

—英和生はまるで空気のよう旧校舎と親しんでいたもので、いつまでも校舎があるように思っていました。同窓会から『鳥居坂わが学び舎』のお知らせをいただいてびっくりしてしまつたのを覚えています。本当によい記録を残してください。感謝しております。



『鳥居坂わが学び舎』
校舎解体にあたって同窓会が発行

新校舎へ記憶をつなぐ

—そして同窓会からは新校舎のデザインに
関してもお働きがあったと聞いています。
五味 新校舎の西正面、ファサードに関
してです。新校舎の図面が出来上がって
いるとこのことを見せていただいたこと
ろ、残念ながら窓ばかりが多い、スパニ
ッシュ風な屋根をのせているだけのいか
にも普通の校舎といったデザインでした。
そこで夏休みの暑い日でしたね…当時
の理事長、亀徳正之先生のお部屋を同窓
会の役員でお訪ねしまして、旧校舎の面
影を残すような意匠への変更をお願いし
ました。先生は非常にお困りのようで、
その場で軽井沢にいらした田島信之常務

理事とご相談になり、「予算を超えない
範囲でならば」という条件で、こちらの
意見を聞いてくださいました。

—そういうことでヴォーリス建築事務所
が保管していらつした旧校舎の立面
図を参考に、出来る限り旧校舎の面影を
残すような設計に変更されて今の校舎の
姿となりました。

—建て直したとお気づきにならなかった
方もあったようです。そういった意味で
は少しでも旧校舎の面影や鳥居坂の景観
が保たれたかもしれません。

—英和生は多くのものをヴォーリス校舎
から与えられました。
五味 ヴォーリスの伝道者としての使命
感と当時の校長ミス・ハミルトンの教育
者としての理念が込められた建物であつ
たと思います。

—本日は貴重なお話をありがとうございました。



校舎落成記念に配られた当時のはがき

学院に残るヴォーリスのデザイン

旧校舎から引き継がれたもの、ヴォーリスの意匠を再現したものが学院のどこ
ろどころで発見できます。今回の英和探
訪(本誌6ページ)で紹介されている中
高部メモリアルチャペル、さらには中高
部第一応接室では部屋全体でヴォーリス
の空間を再現しています。ヴォーリスの
心を伝えながら学院の今に生き続けるデ
ザインを紹介いたします。



入口の手すりも旧校舎から。端がきれいに宝珠の形につくられています

ガーネットハウス鳥居坂には幼稚園にあった木製のダイニングテーブル、旧校舎試食室の暖炉が移されました

旧職員室のガラスケース脇にあった照明器具。今は外灯に使われています



中高部第一応接室。当時の院長室が再現されています

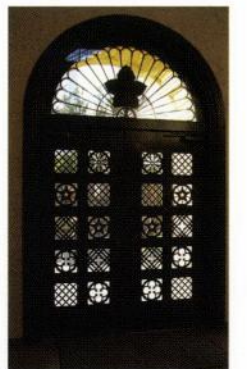
ガラスのドアノブ



院長室のドアについていた詩人ワーズワースのドアノッカー



当時の暖炉の様子を残す現在の中高部教員食堂



英和のシンボルともいえる美しい文様の扉も旧校舎から引き継がれました

学院史料展示のお知らせ

「祈りの建築 ヴォーリスが東洋英和に残したもの」

■ 場所 本部・大学院棟 1階ロビー

■ 会期 2009年4月中旬～8月末日まで

鳥居坂のヴォーリス設計による校舎・宣教師館の残された史料から当時の面影をたどります。ガラスのドアノブなど貴重な史料も並びます。お近くにお越しの際には是非お立ち寄りください。

本部・大学院棟は一粒社ヴォーリス建築事務所による設計です。階段の手すりや鉄の細工、再現された玄関のモザイクタイルなど随所にあたたかみのある工夫がなされています



あの昂りを忘れず
たかぶ



一九九六年 大学院人間科学研究科人間科学専攻修士課程修了 竹内 恵子
たけうちけいこ

社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団横浜ラポール聴覚障害情報提供施設・手話通訳派遣担当職員。手話通訳士。法政大学社会学部社会学卒業。国立身体障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳専門職員養成課程（現・手話通訳学科）修了（一九九四年）。一九九五年より現職。

六本木の思い出

先日、久しぶりに六本木に行く機会があった。六本木ヒルズが建ち、防衛庁跡地はミッドタウンになってしまったが、足場の悪い芋洗坂の歩道は、なぜか十三年前のままだった。一八時三〇分の始業に滑り込むべく、毎夜走ったことを思い出した。

手話の学校への入学

大学卒業後六年勤めた婦人服メーカーを退社し、福祉関係の技能職を養成する学校の、手話通訳者養成課程に入学したのが十七年前。高邁な志があったわけではない。それまでの生活を変えたいという漠然とした思いを抱え、ある日手にとった雑誌の、後に私の先輩となる方（手話通訳者）の特集を見たのが始まりだった。

私が入学したその学校は、当時の普通の手話講習会とは大分毛色が違っていた。その学校の教育は、

「手話は、音声言語と同等、自律した文法を持つ言語であり、その話者であるろう者は、単に聞こえないという障害を持った障害者ではなく、文化的少数者である」という観点がベースになっていた。

ハンデを抱え、福祉の恩恵に与かりながら生きる存在ではなく、言語・文化を有する社会的集団であるという、人類学的なとらえ方である。この観点に依拠する研究は、欧米では一九七〇年代から存在しているが、わが国において、少なくとも私がその学校に在籍した頃には皆無だった。そのため、私の教官達が示したこれらの観点は、当時の「手話業界」の人々に、驚きと拒否感が緬い交ぜの反応で迎えられるに留まっていた。現在、一昨年日本政府が署名した国連障害者権利条約にも「手話は言語」と明示されるなどし、状況は変わりつつあるが、抵抗感を示す人々も相変わらず存在している。当時の私といえ

とが嬉しいし、そうした新しい視点をごく自然に、興味深く受け入れることができたように思う。そして英和へ

この観点について、さらに深めたいという新たな願望が芽生え、教官の勧めもあり（家族を説得し）、大学院受験を決めた。昨今、修士課程に進む後輩も増えたと聞いているが、私はその第一号だったようで、東洋英和の大学院に合格が決まった折には、教官が大変喜んでくださったことを覚えている。英和の同級生は、大手企業の部長さん、看護学校の先生、防衛庁職員の方……職歴も年齢も色とりどり。授業中に語られる、それぞれの経験に基づいた思いは、いつも刺激的だった。私自身、パートを始めたり、終業後の六本木通いは結構キツかったが、同級生も皆同じで、弱音は吐けなかった。私の研究テーマは、これまで福祉の対象としてのみ見られてきた

「ろう者」を、文化人類学的な観点からとらえなおす、というもので、同級生の中でも異色だったと思う。しかし諸先生方は、風変わりな強引な私の興味・関心に、辛抱強く耳を傾け、その都度的確な指針を与えてくださった。特に、宗教民俗学の渡辺和子先生、そして修士論文の指導教授であった、今は亡き原芳男先生には、ひとかたならぬご指導をいただいた。方向性が定まらず遅々として進まない私（と、同じく遅筆の同級生）の論文作成を見かねて、ご自宅にお招きくださり、長時間お付き合いくださったことは忘れられない。

このたび、この原稿をお引き受けしたのを機に、英和時代のレポートや論文を引っ張り出してみたい。どれも赤面モノではあるが、今の私がかともすると忘れがちな、手話や、ろう者と出会って間もない頃感じた、フレッシュな昂りを思い出させてくれた。



大学院の謝恩会にて。渡辺和子先生（中央）を囲んで

主を畏れることは知恵の初め。

箴言 一章七節



東洋英和では水盤に活けた黄水仙を卒業式に飾るのが慣わしとなっています。スクールカラーのゴールドにちなむものと伝えられています

イギリスで海外研修の機会を与えられた時、春休みに風光明媚で知られる湖水地方に滞在した。リントという植物学者の家に泊めて頂くことになり、部屋に通されて窓のカーテンを開けると、広い庭に見渡すかぎり黄水仙が風にゆれていた。ワーズワースの「黄水仙」の歌そのままの光景であった。私にはそれが自分の学びの世界への招待のように思われた。

私たちは花を観察し、自然を理解しようとして学ぶと同時に、その美しさに感動を覚え、その背後にある神の生ける働きに触れる。ある神学者は神を「存在の根底」と呼んでいる。その神が世界を造り保つておられると共に、人格として私たちに出会い、交わり、導いて下さる。この神を畏れ知ることこそ「知恵の初め」である。

教学担当常務理事 大宮 博

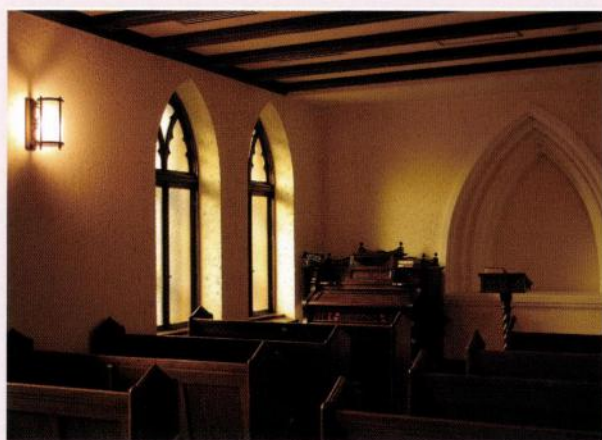
旧校舎の思い出が息づく祈りの場、メモリアルチャペルを訪ねました

中高部の四階鳥居坂側にメモリアルチャペルがあります。外側からは一見普通の部屋に見えますが、ドアを開けるとそこは別世界。黄色いスタンドグラスのやさしい光に満たされた空間が広がります。

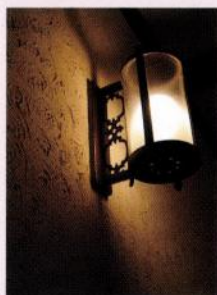
一九九三年にヴォーリス設計の旧校舎が解体される際に、その精神を受け継ぐ場所を残そうということでメモリアルチャペルの設置が決まりました。旧チャペルからは聖書台にはじまり、明治四四年と四五年年度の卒業生有志から寄贈されたオルガン、椅子、ステンドグラス、そして英和生が大好きだったガラスのドアノブが引き継がれています。

メモリアルチャペルでは毎週始業前七時四〇分から、水曜日は生徒達による聖書輪読会、金曜日は先生達による早天祈祷会が行われ、高等部のクラス礼拝にも使用されています。創立記念日には東洋英和幼稚園の年長組の園児とお母様達が礼拝を持ちます。

ご案内くださった中高部聖書科の高橋貞二郎先生は「目で見えないものと同じに目で見えるものも心を養うのに大事です」と語っていました。ヴォーリス建築の持つあたたかさや真摯な祈りの心が今も息づいています。



中央のアーチに近づいて見ると十字架のモチーフがかすかに浮かびます。これもヴォーリスの設計に基づいています



壁には見事な左官技術によって旧来のチャペルのように渦巻き模様が再現されています

左は旧大講堂で使われていた椅子。右も旧校舎から受け継いだチャペルの椅子



心のこもった手作り品

園庭に植えられたチューリップが花開くとともに、私たちは、新しい園児と保護者の方々をお迎えしました。

保護者の方々は、わが子の新しいスタートを祝い、心を込めてさまざまな手作り品を準備されます。

この一年、一人ひとりの子どもが、心のこもった品



洋服の上からすっぽり履くお砂場パンツ

を身に付けて喜んで幼稚園に集い、心も身体も成長していくことを願っています。



さまざまな刺繍とアップリケのついたリュックサック



色とりどり、子どもたちが喜んで身にまとうエプロン

「幼稚園生活を振り返って」



東洋英和幼稚園前園長 大伴 栄子

十二年前に、幼稚園から大学まで一

度も英和で学んだ経験のない私が、それも四〇歳代半ばで園長に就任したの

ですから、周りの方々はどんなに心配されたことでしょうか。勿論、私にも戸

惑いがありました。それまで勤めていた大学では教師が主導で学生を引っ張

「幼稚園生活に向けて」



東洋英和幼稚園新園長 森 眞理

っていきますが、幼稚園では主役はあくまで子ども。教師は子どもの興味・関心やそれぞれの課題に対して支えて援助します。その上に、準主役は担任教師。園長の仕事は、日々の保育では全くの脇役です。九〇分の授業にエネルギーを注ぐのとは全く異なるエネルギーの使い方に、戸惑ったことを懐かしく思い出します。

可愛くて、可笑しくて、時にはとてもないことをしでかす子どもたちの生活は、笑いの連続。たくさんの方々の力をいただき、生かされていたと実感

しています。

しています。そして、ご父母との関わりも、充実したものでした。「この頃の親御さんは」と言いたいことがないわけではありませんが、素直で一生懸命な姿に魅力を感じ、私の経験や知識がお役に立てばと心から思ったものです。そして、英和の園長ゆえに、各界の著名な方々とお知り合いになる機会を得たことも、私の人生を豊かにしてくれました。

今は、一番やりたかった仕事なのだと確信し、神様のお恵みと皆様のお支えに心から感謝しております。

時の園長 I・S・ブラックモア先生が幼稚園創立二〇周年に幼稚園の誕生を振り返り、表された祝辞の一文です。保育者（大人）の生きる姿勢そのものが、幼児の心身の育ちにいかに大切か、考えさせられます。

も）大丈夫だよ、天国にイエス様と一緒にいるよ」（五歳児）等、繊細で逞しく生きる声が聞こえてまいります。世の光としての子どもが一層輝くために、保育者も保護者も共に光の中で歩む者とされたいものです。

「世の光なる主イエスを子供らの道にもたらしたところのあなた方指導者自身が、その光の中に歩んでみられるかといふことが、完備した教室や園児の日々の作業の巧みさよりも、一層深刻な問題であります。」

一九一四年に、東洋英和幼稚園開設

近年、社会では子育て支援が叫ばれ、様々な施策が展開されていますが、子ども自身が語られなくなっているように思えます。しかし、子どもからは「お友達がお引越して、しょんぼりしちゃう」（三歳児）「飼っていた鳥が死んだ際、死と向き合い悲しみつつ

此の度、大学における保育者養成という場から子どもと日々共にある生活の場へと導かれました。英和の伝統と歴史を継承しつつ、幼稚園教育のさらなる充実と発展のために、まずは、ブラックモア先生のお言葉を礎として、歩んでいきたい所存です。

春の風景より

四月：桜・チューリップ・雪やなぎ・ヒヤシンスなどが咲き誇り、かえで幼稚園の庭を美しく彩っています。そこに響くのは、入園・進級を喜び弾むように遊ぶ子どもたちの笑い声と、家庭から一歩踏み出した生活に不安を感じている子どもたちの泣き声です。



桜吹雪の中で語らい、遊ぶ子どもたち

今年度も一人ひとりが認められ、自分が好きになり、安心を得、人を好きになっていく過程を大切に、歩み始めています。

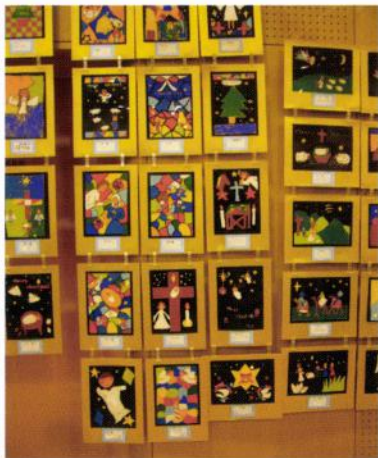


友だちと砂場で遊ぶ子どもたち



「私たちもそんな時あったよね」「もうすぐママがお迎えに来るから大丈夫よ」と声をかける子どもたち（5歳児）

「ママー、ママに会いたい」と泣いている3歳児のMちゃん



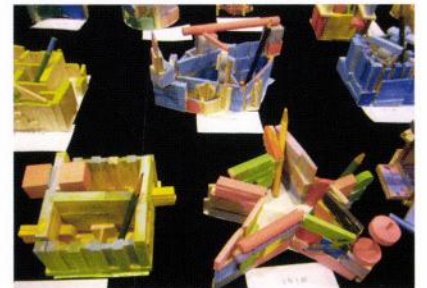
5年 ステンドグラス「クリスマス」

小学部 美術展

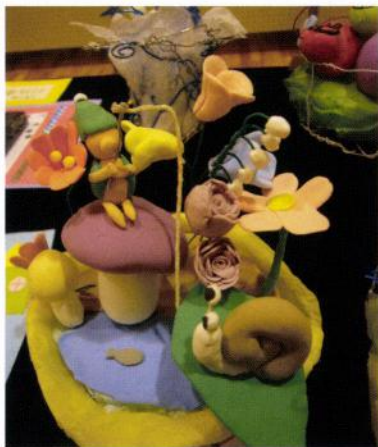
2月10日（火）、11日（水・祝日）の2日間、たくさんのお客さまをお迎えして美術展が開催されました。今年のテーマは「創るって楽しいな」です。



1年 粘土「笑顔」



2年 工作「えんぴつたて」



6年 工作「いろいろアレンジメント」



4年 粘土「10歳の記念碑」



3年 版画「飛ぶもの」

試練の連続！

最初の試みとして、授業を無駄なく展開していくために、今まで板書していたものもあらかじめ用意し、電子黒板を使用して資料や地図などを組み込んでみました。しかし、実際にやってみると板書するスピードが遅い生徒にとっては「ノートに全部書く前に画面がかわってしまう」という意見が多数出ました。

また、「光が反射して字が見にくい」などという意見もあり、従来の黒板のみの授業に慣れてきた生徒にとっては簡単に受け入れてもらえませんでした。

その解決策として…

工夫その1

板書のスピードが生徒によって違う問題を解消するために、電子黒板の画面を「スクロール式」に設定し、少しずつ画面が変わっていく方式に変更してみました。

<従来の黒板の場合>

古期褶曲山地 (例) ウラル山脈 アパラチア山脈	新期褶曲山地 (例) アルプス山脈 ヒマラヤ山脈 ロッキー山脈 アンデス山脈	まず左半分に板書し、次に右半分に板書し、その後、左半分の板書を消して新しく板書していたため、板書を写すスピードが遅い生徒でも、時間がかかってもノートを写すことが可能。
--------------------------------	--	---

<電子黒板のスクロール式>

古期褶曲山地 (例) ウラル山脈 アパラチア山脈		一挙に画面を切り替えるのではなく、最初に上半分の画面を映し出し、スクロールして徐々に下に映し出す。
新期褶曲山地 (例) アルプス山脈 ヒマラヤ山脈 ロッキー山脈 アンデス山脈		

その解決策として…

工夫その2

最初はアクティブボードの白い画面に黒い文字で書いていたのですが、画面を生徒が今まで慣れていた黒板の色に変更し、白い文字を書くという形に変更してみました。

国境の確認

☆自然的国境

リオグランデ川(アメリカーメキシコ)

☆人為的国境

北緯49度(アメリカーカナダ)

北緯45度(アメリカーカナダ)

西経141度(アメリカーカナダ)

現在の取り組みとして！

生徒が長年慣れてきた従来の「黒板」を基本とした授業展開の中で、アクティブボードを有効利用する方法を取っています。まず、中学生の授業では資料や配布したプリントを電子黒板に映し出し、生徒が「目で見て」分かりやすい教材作りを心がけています。

また、高校生では、授業中に教師の説明を聞くことに集中させるため、大まかな板書の内容も電子黒板で映し出し、授業の全体像を把握させながら、従来の「黒板」と併用し、補足説明を加えていくという授業を行っています。その結果、これまでの授業よりも、より多くの資料を使用しているにもかかわらず、授業の進捗としては以前よりも早くなったと思います。

しかし、現状に満足することなく、生徒の意見も受け入れながら、「生徒が理解しやすい授業」を行うために、北崎勝彦教頭先生と協力して、日々努力しております。



高等部でも地理の授業を行う際に電子黒板を使っています。この機械は移動式でコンピュータと接続の出来る黒板です。私たちは今までこのような黒板を見たことがなかったので、とても驚きました。

上野先生は前もってパソコンに授業で取り扱う内容を入力してくださいませ。それがそのままモニター(アクティブボード)に映るのでその日の授業の流れがわかります。私たち生徒はまず始めにモニターの文字を写し、それから先生の説明を「聴く」という姿勢をとっているのです。きちんと先生のお話だけに集中することが出来ます。この動作の利点は、先生の大事な話を聞き逃すことなく自分で重要だと思った点をさらにノートに付け加えられることです。

また、ビデオや、その説明したい地形の写真などもモニターにそのまま映ります。

以前「その写真の意味がよくわからない」と言う生徒がいたときに、先生はまた新たにわかりやすい写真をパソコンに入れてみんなの前でもう一度説明してくださいました。最新の資料を基に教えてくださり、地形に対し、さらにイメージがしやすくなりました。

高一 内田 咲衣

電子黒板授業で地理をもっと学びやすく！

地理の授業を行う立場の長年の悩み！

現在、中高部では社会の地理の授業でアクティブボードという電子黒板を使用し、授業を行っています。地理の授業は、女子生徒にとって苦手意識の強い科目です。その苦手意識の強い地理を何とか、自分たちの生活に身近なものとして、興味を持ってもらうにはどうしたらよいか、ずっと悩み続ける日々でした。

地理の授業では、日本だけではなく、世界の自然、地形、農業、工業を学びます。しかし、授業の内容において教科書

や資料集に載っている写真や資料だけでは物足りない部分が多く、教師が授業中に言葉だけで説明するのには不十分で、その問題点をどのように解消していくかが大きな課題でした。

また、地理では必ず地図を描きますが、教師が黒板に手書きした地図を生徒が写してノートに地図を書くと、本当の形ではない地図が生徒のノートに描かれることも多く、正確な位置を判断することが難しい点もありました。

視覚的に訴える授業を！

初めてアクティブボードの講習会を受けたときに、「これだ！」と思いました。

アクティブボードは、書画カメラのようにただ、教材を大きく映し出すだけでなく、その画面に書き込みをすることができます。今までは、資料集の小さな写真や資料を指差ししながら「ここがね」と話をしていたのが、それらを大きく映し出すだけでなく、そこに書き込むことによって、補足説明をすることが以前よりも効果的にできるようになりました。

また、今までは低学年ほど、クラス全員が地図帳の場所を確認するのにとても時間がかかりましたが、アクティブ

ボードに地図帳の画面を映し、位置に印をつけることによって、以前よりもスムーズに位置の確認ができるようになりました。



高三授業風景



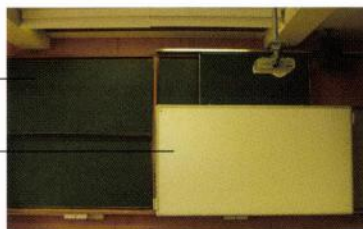
中2授業風景

社会科教室は……

従来の黒板の隣に、アクティブボードが設置されています。

従来の黒板

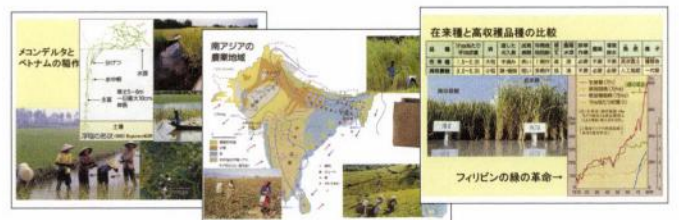
アクティブボード



(アクティブボード概要図)



アクティブボードに映し出される教材の一例（高一教材）



(生徒が使用している資料をもとに作成した例)

電子黒板の授業を受けた生徒の感想

私が電子黒板を使った授業を受けて、感じたことを紹介します。

電子黒板で良いと思った点は、その授業で自分が使用したプリントや写真、地図などが黒板に映されて、さらにそれに先生がペンで色々な書き込みができることです。特に地理で、細かい地図などを使用したとき、普通の黒板では細かい色分けはできませんが、電子黒板では豊富なカラーバリエーションを使って簡単に色分けがしてもらえるので、細かくて難しいところも分かりやすくなり、一目で理解することができるように思います。

一方、普通の黒板と違って電子黒板では、ノートを速くならないと、すぐに次の画面になってしまうので最初は少し大変でしたが、何回か授業を受けていくうちに慣れていきました。電子黒板を使うと、授業がさらに充実したものとなり良いと思います。

中2 野口 真里

「イヴリン」と「雨の中の猫」

元国際社会学部教授 太田 良子

私は二七年前に東洋英和女学院短期大学英文科に奉職した。四月から早速「英米文学特殊講義」や「英文講読」を担当した。さて、「英文講読」のテキストは何

にしようかと考えた末、イギリスの作家エリザベス・ボウエン（一八九九—一九七三）に目をつけ、全部で七八三ページもある彼女の短篇集をテキストにした。ボウエンの英語は難しいぞという心配をよそに、学生たちは辞書と首っ引きで取り組み、謎めいたストーリーにつられて読解力を身に付けていき、授業に活気が出てきた。彼女たちが英語で小説が読めるようになったのは明らかだった。「英語で小説が読める」とは、「自分以外の世界があることを知る」ことであり、これが読書の一番の楽しみである。

「英語の英和」という伝統は、短大の入学試験に負うところも大きかったかもしれない。試験問題はすべて教員が作成した。英語の問題は文法から発音・語彙問題、英作もあれば和訳もあった。入学試験のハイライトは、採点を教職員総出でやったことだ。図書館に全員集合、採点はすべて二人一組でダブルチェック、総得点もむろんダブルチェック、採点がすんだ解答用紙を一〇点刻みでグループ分けして重ねていく。夕闇とともに最高得点が判明するとみんな感動した。こうして入ってきた学生たち、何だか血が通

っているような気がした。五〇年にわたる短大の手作り教育が「英語の英和」という成果の一つに結実したことは間違いない。

数年前から大学の「リーディング」に文学作品をテキストにしてもいいことになり、私はその方針に飛びついた。今年度は前期に読んだ短篇の中に二〇世紀最大の作家J・ジョイスの短篇「Evelyn」があり、後期に読んだ中にアメリカの代表作家ヘミングウェイの短篇「Cat in the Hat」があった。クラスで読んだ短篇はどれもアメリカやイギリスや韓国や中国でも読まれていて、グローバルとはこういうことだと説明した。期末試験をした先日のこと、九〇分かけて取り組んだ解答用紙を集めたとき、みんなが何かを解答用紙にはさんでいる。「あとで読んで下さい」と最前列のKが言う。あとで読んでみたらこれがサンキュー・カードだった。私の退職を知って、みんなが思い思いにカードを書いてくれたのだ。その前の週にカメラを持ってきてクラスの記念撮影をしたのは、学期初めは見るからに英語嫌いの学生だったのに、自分で撮った写真でカードを作り、その中にびっしり言葉が並んでいた。「……小説って面白いですよね!!! 自分で訳した所が合つてるとすごい達成感があるし、普通の会話文と違って感情がすごい見えて自分も入りこめ

るんです（笑顔）。しかも、女性中心の内容容だったり、男女の話だったので、本当に今まで感じたことのない面白さがありました！」この『楓園』紙上を飾る他学部の生徒たちの芸術作品が可愛くて羨ましかったが、私も生徒のサンキュー・カードを一枚ここに披露します。



さて先日の読売新聞に横浜市青葉区で大評判の退職した紳士方からなるコーラス・グループの記事が出ていた。さらに記事によれば、男性の平均寿命が日本一長いのが青葉区とのこと。本学は緑区にあるが青葉区も元は緑区、わが生涯学習センターの太田クラス「英和読書会」は受講生十五名のうち男性が八名、うち二名はもう九年生である。内館牧子が言うとおり、大学などが開設している生涯学習センターは、「本当にやる気のある生徒しか残らない。やる気のない生徒はすぐに来なくなる。そのため、残った生徒は非常に真剣で熱心」なのだ。「カルチャー

センター」は別名「かあちゃんセンター」と呼ばれたように、当初は女性が多く集まりがちだったが、センターのクラスにも男性が増えてきた。緑区やその近隣は男女ともに高学歴者が多いという統計もあり、退職後は合唱や英語に持ち前のイテリジェンスが発揮されるのだろう。

「英和読書会」でいま読んでいるのはG・グリーンンの「地下室」、往年の名画「落ちた偶像」の原作である。京大教授若島正の訳では、地下室に下りていく家政婦の足音は、「下へ、下へと」。これではダメだ。ここはどうしよと「going down, going down」でなければ。彼女の足音は、少年フリップの耳に生涯響き続ける。教会の鐘の音は英語では「デインドン」、二度繰り返される「going down」には教会の甲斐の鐘の余韻がある。

というわけで私にとって英和の短大、大学、生涯学習センターは、英語の小説をみんなて読むという意味で一本道だ。終わりのない読書の楽しみをさらに多くの人々と分かち合えたらと願っている。



初の国際協力サークル

国際社会学部四年 武久 茉莉

「国際社会学部なのに、国際協力サークルがないの？」そんな疑問から、東洋英和女学院大学のLoRoSHIP（ロロシップ）の活動が始まりました。LoRoSHIPとは、「学生によるハートフル国際協力プロジェクト」をテーマに埼玉大学と法政大学の学生を中心に二〇〇三年九月に設立されたNGOです。二〇〇二年に独立を果たした東ティモールの人々が経済的に自立出来るように、「ビーズプロジェクト」を行っています。こんな活動をしているNGOがある、一緒にやりたいという仲間がすぐに二〇人ほど集まってくれました。みんな、途上国の現状を知り、心を痛め、何か少しでも自分出来ることはないかと考えていました。

LoRoSHIPが行っているビーズプロジェクトは、働いて現金収入を得ることが難しい東ティモールの人々に、働く機会を提供し、定期的な現金収入を得ることで、経済的に安定した生活をおくってもらおうという取り組みです。具体的には、三つのステップがあります。

① 現地の方々にビーズなどの材料を届け技術支援を行い、アクセサリ



② 生産されたアクセサリを日本・東ティモール・シンガポールで販売する。

③ 売上の大半を生産者の収入として還元する。

今、東洋英和支部では、①の現地の生産者の方々のためにアクセサリのデザインを考えたり、作り方を教える発注の仕事を担当しています。出来た製品をかえて祭を始め、神奈川県内で開かれている国際協力のイベントやお祭りに出店して販売しています。商品を買ってもらうだけでなく、東ティモールの現状を少しでも多くの人に知ってもらえるよう説明したりもしています。「お買い物で国際協力を」という運動です。

まだ現地には行ったことのない東洋英和支部のメンバーですが、二〇〇九年夏には渡航し、現地の人々の生活を見たり、触れ合ったりしたいと思っています。学生の生活ではなかなか繋がることなど出来ない東ティモールの人々と、「協力」し合っている。そんな活動を通して私たち東洋英和支部のメンバーは、大学の講義とは異なることを沢山学んでいます。

はばたくチアリーダース部

国際社会学部四年 中沢 英実

私たちチアリーダース部は現在二〇名（新三年生十三名、新二年生七名）で活動しています。チアリーディングとは、十六人で行う表現競技の一つで、観客に笑顔と元気を与えるスポーツです。大会では二分三〇秒という演技時間の中にスタンプ（組体操のようなもの）・ダンス・モーション・ジャンプを組み込み、技の難易度やシンクロナシティ、安定性などを競います。

二〇〇八年は「Die Hard」という目標を掲げ、硬い信頼関係を築き、八月に行われた全国大会では十位、十二月に行われた全日本学生選手権大会では全国十一位という結果を残すことが出来ました。仲間や家族、コーチ、そして先生に支えられ、全員で得られた結果だと思っています。



二〇〇九年は「一（いち）」という新しい目標を掲げ、新たに動き出しました。歴代の先輩方が築き上げてきた伝統を引き継ぎ、さらに飛躍していきたいと考えております。応援宜しくお願ひします。

絵画への想い

国際社会学部二年 邊見 穂香

小学部の頃から一番好きな授業は美術（図工）でした。特に写生は思い入れがあり、自由に描く楽しさを初めて知りました。高等部二年の時に初めて二科展に出品して以来、昨年で三年連続して入選することが出来ました。



今年は二科展同様、女流画家協会展にも目を向けるつもりです。

真っ白なキャンバスに思いや願いを載せる事で、一人でも多くの幼な子からお年寄りまでが、私の絵を目にして心豊かに穏やかに過ごすことができる絵を描き続けていきたいと思っています。

※学院ZEMAS（本誌13ページ）で邊見さんの二科展入選作品を紹介しています

学生音楽コンクール第一位に 高等部三年 横山和美さん

第六二回全日本学生音楽コンクール全国大会（毎日新聞社主催）が二〇〇八年十一月二十七日より六日間、横浜みなとみらいホールにて行われました。最終日の十二月二日に声楽部門の高校の部と大学・一般の部が行われ、受賞当時高等部二年の横山和美さんが初出場で見事第一位に選ばれました。横山さんはドニゼッティの「連隊の娘」より「さよなら」を歌い、高音から低音までむらのない美声で圧倒しました。

二月五日、中高校の大講堂で改めて高等部の生徒達を前に、同級生の清水奏花さんの伴奏で、その素晴らしい歌声を披露してくれました。春の甲子園選抜高校野球大会開会式でも、コンクールの優勝者として国歌を歌いました。
益々のご活躍をお祈りいたします。



二科展入選 国際社会学部 邊見穂香さん

国際社会学部国際社会学科二年に在学中の邊見穂香さんの作品が第九三回二科展に入選しました。英和の高等部時代から本格的に絵を描き始め、高等部二年の時に二科展に初出品・初入選して以来三年連続の入選です。

益々のご活躍をお祈りいたします。



KIORA

F100号



昨年度の二科展に入選した作品です。画題「KIORA」は「清らか」から連想、名づけたもので、混沌とした今、人々の心が「清らか」にあるように、願いを込めました。

プリンス・エドワード島の観 光大臣をお迎えしました

一月五日、東洋英和にカナダのプリンス・エドワード島州のHon. Valerie Doehaty（バレリー・ドカティ）大臣とそのご主人、政府観光局のRobert Ferguson（ロバート・ファーガソン）氏がいらっしやいました。

東洋英和がカナダの婦人宣教師達によって創設された学校であることと、プリンス・エドワード島を舞台にした物語『赤毛のアン』の翻訳者である村岡花子が東洋英和の卒業生であることから今回の訪問となりました。大臣達は高等部三年の生徒達の元気な声に迎えられて、中高校と史料展示コーナー「村岡花子と東洋英和展」を見学されました。東洋英和はカナダ・メソジストの方々から寄せられた篤い思いによって創設された学校であり、今後ともカナダとの絆を大切にしっかりと交流を深めていきたいものです。



軽井沢分寮・野尻キャンパス 宿泊利用案内

東洋英和では、学院の宿泊施設を学院関係者の皆様にご利用いただいております。高原の軽井沢分寮と湖畔の野尻キャンパスと、それぞれ違った魅力が楽しめます。是非ご利用ください。



軽井沢分寮
■所在地：長野県北佐久郡軽井沢町追分
■利用期間 5月の連休明けから10月31日まで、学校行事の期間を除き利用できます。
■利用料金 6,000円～8,000円（1泊3食付）



野尻キャンパス
■所在地：長野県上水内郡信濃町桐久保
■利用期間 中高校夏期学校・キャンプ終了後の8月6日から8月24日まで利用できます。
■利用料金 6,000円～8,500円（1泊3食付）

●予約状況・料金等詳細につきましては法人事務局管財課（03-3583-3307）までお問い合わせください。2009年4月1日より受け付けております。

東洋英和
幼稚園



ACEF訪問 (5歳児)

- アドヴェント終業礼拝
12月10日(水)
- ACEF(エイセフ)訪問 五歳児
1月16日(金)
- 銀杏献金を西早稲田にあるアジアキリスト教教育基金(ACEF)事務局へ届けに行きました。
- おもにつき
1月22日(木) 三・四歳児
2月6日(金) 五歳児
- 父と子の遠足 五歳児
2月7日(土)
- 素話の会 2月13日(金)
白井敬子さんに学年ごとに素話をしていたきました。子ども達はお話の世界を存分に楽しみました。その後お母様にもお話を聞かせて下さいました。
- 日本舞踊を観る会
2月16日(月)
日本舞踊振興財団の皆様にご日本舞踊を観せていただきました。

大学付属
かえで
幼稚園



クリスマス礼拝 一羊になっている3歳児

- クリスマス礼拝
四歳児・五歳児は、二日に分けて縦割りクラスで夕方から集い、親子で礼拝を守りました。三歳児親子の礼拝には、五歳児有志が加わり、ページェントをもって礼拝をしました。同窓会のクリスマス礼拝には二〇〇名近くの卒業生が集まりました。
- 父親保育参加 2月7日(土)
四歳児のお父様方が、普段子どもたちのしている遊びに加わり、おもにつきなどを楽しみました。
- 人形劇鑑賞 2月14日(土)
人形劇団「ひばたあむ」の劇を親子で楽しみました。
- 卒業遠足
2月19日(木)
五歳児の子どもたちと保育者全員で、富士の裾野に出かけ、そり滑りを楽しみました。

小学部



親子討論会

- むかえようクリスマス
12月13日(土)
聖歌隊の合唱やオルガン・ハンドベルの音色に包まれ、ページェントを通してクリスマス喜びを、お集まりの一般の方々にも伝えることができました。
- 韓国 梨花女子大附属初等学校との交流 1月22日(木)
テコンドーや折り紙など、韓国と日本の文化を紹介し合い一緒に楽しむことができました。
- マグノリアコンサート
1月30日(金)
子どもオペラ「魔弾の射手」を全校生で作りました。
- 親子討論会
2月11日(水・祝)
六年生と保護者が十六組に分かれ、それぞれのテーマのもとデベートで親子対決しました。結果は六年生の勝利でした。

中高部



中学部鑑賞行事「ロンドンアンサンブル」

- 中学部鑑賞行事 12月9日(火)
大講堂でロンドンアンサンブルの美しい音色を楽しみました。生徒が演奏に参加する場面もありました。
- クリスマス音楽会
12月13日(土)
ハンドベル・パイプオルガン・合唱・オーケストラの演奏で、今年も沢山の来場者と共にクリスマスを祝いました。
- クリスマス礼拝 12月19日(金)
中学部は岩田昌路牧師(狛江教会)、高等部はシュー・ポール牧師(大森めぐみ教会協力牧師、青山学院大学宗教学主任)からお話を伺いました。
- 中学部入学試験
2月2日(月)、4日(水)
今年は一日が日曜日で試験の日程が二日と四日になり、多くの受験生が試験に臨みました。

大学
大学院



クリスマス礼拝

- (大学)
●クリスマス礼拝 12月22日(月)
説教 深町正信先生(青山学院名誉院長)
- 大学入試
・スカラシップ特別入試
12月21日(日)
今年度は、横浜校地、六本木校地に加え大宮、静岡、水戸、札幌の四会場でも入試を行いました。
- 大学入試センター試験
1月17日(土)、18日(日)
- 一般入試 1月31日(土)
- 一般入試(後期) 2月20日(金)
- (大学院)
●大学院入試
・国際協力研究科、冬季選抜
12月6日(土)
- ・人間科学研究科春季選抜一次・二次 2月7日(土)、14日(土)
- ・国際協力研究科、春季選抜
2月14日(土)

2009年度 行事予定

小学部		東洋英和幼稚園		大学付属かえて幼稚園	
4月	7日(火) 始業式 9日(木) 入学式 10日(金) 受難日礼拝 15日(水) イースター礼拝 * 春の健康診断	4月	8日(水) 始業礼拝 14日(火) 入園式 * 春の健康診断	4月	8日(水) 始業礼拝(進級児) 9日(木) 新入園児始業 10日(金) 入園式 13日(月) イースター礼拝、 小学生イースター礼拝 25日(土) ワーク(5歳児、父親保育参加 及び家族のバーベキュー、年 4回実施) 28日(火) 園外保育(4歳児)
5月	1日(金) 春の遠足 12日(火)～13日(水) 授業参観日 30日(土) 運動会	5月	1日(金) 新入園母子歓迎会 * はみがき指導 29日(金) 春の遠足(四季の森公園)	5月	11日(月) 母の日礼拝 12日(火) 園外保育(5歳児) * 園外保育(3歳児)
6月	3日(水) ペンテコステ礼拝 11日(木) 学校説明会① 19日(金) 児童引き取り訓練 26日(金) 1、6年歯磨き指導 27日(土) 学校説明会②	6月	6日(土) 父母の会 26日(金) 銀杏の木献金セール	6月	* 父親講演会
7月	追分の生活 14日(火)～16日(木) 1年1組 16日(木)～18日(土) 1年2組 18日(土)～20日(月) 2年1組、6年1組 20日(月)～22日(水) 2年2組、6年2組 22日(水)～24日(金) 3年1組・2組 24日(金)～26日(日) 4年1組・2組 27日(月)～30日(木) 5年1組・2組	7月	8日(水)～10日(金) キャンプ(5歳児) (軽井沢追分寮) 15日(水) 終業礼拝 18日(土) 入園説明会① 20日(月・祝) 入園説明会②	7月	17日(金) 終業礼拝 たのしみ会(3歳児) 18日(土) 夕涼み会 * 母親講演会
8月		8月		8月	26日(水)～31日(月) 夏期保育
9月	4日(金) コース別集団下校訓練 15日(火)～18日(金) 6年 修学旅行(北海道) 30日(水) 秋の遠足	9月	4日(金) 始業礼拝 30日(水) 祖父母の会	9月	2日(水)～4日(金) 軽井沢キャンプ(5歳児) 8日(火) 始業礼拝(4、5歳児) 9日(水) 始業礼拝(3歳児) 26日(土) 入園説明会Ⅰ
10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 2日(金) 前期終業式 5日(月) 後期始業式 * 秋の健康診断	10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 10日(土) 父と遊ぶ日(3、4歳児) 23日(金)～29日(木) 入園考査 * 秋の健康診断	10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 17日(土) ファミリーデー(4、5歳児) (大学校地) 19日(月) オープンデー(3歳児) 21日(水) 入園説明会Ⅱ
11月	2日(月) 入学考査 6日(金) 学院創立記念日 27日(金) 学芸会 30日(月) アドヴェントを迎える会	11月	6日(金) 学院創立記念日 13日(金) りんご園遠足(5歳児) (長野県上田市)	11月	2日(月) 入園願書受付 4日(水) 芋ほり(4、5歳児) 6日(金) 学院創立記念日礼拝・音楽会 25日(水) アドヴェント礼拝Ⅰ 30日(月) アドヴェント礼拝Ⅱ
12月	12日(土) むかえようクリスマス 17日(木) クリスマス礼拝	12月	9日(水) 母の会アドヴェント礼拝 15日(火) アドヴェント終業礼拝	12月	7日(月) アドヴェント礼拝Ⅲ 16日(水) クリスマス礼拝(3歳児) 17日(木)・18日(金) クリスマス礼拝(4、5歳児) 19日(土) 小学生クリスマス礼拝
1月	29日(金) マグノリアコンサート	1月	12日(火) 始業礼拝 * おもちつき * ACEF訪問(5歳児)	1月	8日(金) 始業礼拝(4、5歳児) 12日(火) 始業礼拝(3歳児) * 教会訪問(5歳児)
2月	10日(水)～11日(木・祝) 美術展 11日(木・祝) 親子討論会 15日(月) 授業参観日 23日(火)～26日(金) クラブ発表週	2月	6日(土) 父と子の遠足(5歳児) (栃木県那須高原) 13日(土) ホームカミング 16日(火) 日本舞踊を観る会	2月	6日(土) 父親保育参加(4歳児) 18日(木) 卒業遠足(5歳児) 20日(土) 人形劇
3月	17日(水) 卒業式 18日(木) 修業式 24日(水)～26日(金) 歴史探訪の旅(奈良・京都)	3月	* お別れ会 * 課外日舞おさらい会 * 課外ピアノ科おさらい会 10日(水) 終業礼拝 11日(木) 卒業式	3月	16日(火) 終業礼拝(3歳児) 17日(水) 終業礼拝(4歳児) 18日(木) お別れ会 19日(金) 卒業式 * 園外保育(4歳児)

2009年度 行事予定

大 学 院		大 学		中 高 部										
4月	4日(土)	入学式・オリエンテーション	4月	2日(木)	入学式	4月	7日(火)	中学部入学式						
	18日(土)	修士論文(研究成果)題目届提出締切日 (2009年9月修了見込者) 博士論文題目届提出締切日 (2010年3月修了見込者)		1日(水)~8日(水)	学内オリエンテーション		8日(水)	中学部始業式	25日(土)	授業公開日・母の会総会				
	5月	23日(土)		入試説明・相談会	5月		20日(水)~21日(木)	1年生オリエンテーション合宿 (国際社会学部)	5月	11日(月)~13日(水)	高3修養会(天城)			
		7月		2日(木)			修士論文(研究成果)提出締切日 (2009年9月修了見込者)	21日(木)~22日(金)		1年生オリエンテーション合宿 (人間科学部)	11日(月)~15日(金)	高2修学旅行(阿蘇・雲仙・長崎)		
	4日(土)			2009年度修士課程後期入学試験	6月		7日(日)	オープンキャンパス	11日(月)~15日(金)	中1オリエンテーション前後期 (軽井沢追分)				
	25日(土)	入試説明・相談会(両研究科)		*			東京女子大学スポーツ交流会	13日(水)	中2~高1学年行事					
	9月	5日(土)		2009年度後期科目等履修生・プログラム履修生試験	7月		25日(土)	オープンキャンパス	6月	4日(木)~9日(火)	I 期中間試験			
		12月		12日(土)			人間科学研究科修士課程	8月		22日(土)	オープンキャンパス	9日(火)	中学部鑑賞行事、花の日礼拝・訪問	
				19日(土)			学位授与式/入学式・オリエンテーション			9月	20日(日)	オープンキャンパス	18日(木)~19日(金)	高1カンファレンス(軽井沢)
				10月			1日(木)				追悼記念日礼拝	10月	1日(木)	追悼記念日礼拝
	3日(土)	修士論文(研究成果)題目届提出締切日(2010年3月修了見込者)			3日(土)		オープンキャンパス	27日(土)	オープンスクール					
	24日(土)	入試説明・相談会 (国際協力研究科のみ)		25日(日)	公募制推薦入試、同窓生子女枠 特別推薦入試、一般・社会人編入試		10月31日(土)~11月1日(日)	かえで祭	7月	17日(金)~8月7日(金)	語学研修旅行(カナダ)			
30日(金)	博士論文提出締切日 (2010年3月修了見込者)	11月	6日(金)	学院創立記念日	18日(土)~20日(月)	オープニングキャンプ(野尻)	21日(火)~28日(火)	中2夏期学校前後期(野尻)						
11月	6日(金)		学院創立記念日	*	創立記念日礼拝	12月	2日(水)	アドヴェント夕礼拝	29日(水)~8月1日(土)	訓練キャンプ(野尻)				
	21日(土)	入試説明・相談会 (人間科学研究科のみ)	21日(土)	オープンキャンパス	5日(土)		オープンキャンパス	8月	1日(土)~6日(木)	キャンプ(野尻)				
12月	3日(木)	修士論文(研究成果)提出締切日 (2010年3月修了見込者)	*	チャペルコンサート	19日(土)	スカラシップ特別入試	3日(月)~5日(水)		夏期修養会					
	5日(土)	国際協力研究科修士課程 2010年度前期(冬季選抜)試験	21日(月)	クリスマス礼拝	1月	9日(土)	院内推薦入試、外国人留学生入試	9月	5日(土)	第1回学校説明会				
2月	6日(土)	人間科学研究科	16日(土)~17日(日)	大学入試センター試験		31日(日)	一般入試		16日(水)~25日(金)	I 期期末試験				
	13日(土)	人間科学研究科	2月	20日(土)	一般入試(後期)	10月	1日(木)	追悼記念日礼拝	10月	1日(木)	追悼記念日礼拝			
20日(土)	学位授与式	3月		12日(金)	卒業礼拝		5日(月)	第II学期始業礼拝		10日(土)	体育祭			
3月	6日(土)	2010年度前期科目等履修生・プログラム履修生試験	18日(木)	卒業式	11月	6日(金)	学院創立記念日	23日(金)~24日(土)	楓祭					
	20日(土)	学位授与式	12月	3日(木)~9日(水)		II 期中間試験/高3期末試験	2日(月)~6日(金)	創立記念特別週間	11月	6日(金)	学院創立記念日			
4月	1日(水)	新任者辞令交付式		9日(水)	中学部鑑賞行事	2日(月)~6日(金)	創立記念特別週間	14日(土)		第2回学校説明会	12月	3日(木)~9日(水)	II 期中間試験/高3期末試験	
	10日(金)	全学院新年度礼拝・歓迎会	12日(土)	クリスマス音楽会	20日(金)	球技会(中学部)	18日(金)	クリスマス礼拝	2月	1日(月)		入学試験A日程		
7月	3日(金)	後援会常任役員会・役員会・総会	18日(金)	クリスマス礼拝	2月	3日(水)	入学試験B日程	3月		4日(木)~10日(水)	II 期期末試験			
	25日(土)	三英和懇談会(於 東洋英和)	3月	5日(金)		後援会・母の会役員・学院懇談会/後援会常任役員会	17日(水)		中学部卒業式・修業式	18日(木)	高等部卒業式	3月	17日(水)	中学部卒業式・修業式
8月	29日(土)	楓の会設立式(仮称)		24日(水)	退職者辞令交付式・送別会	3月	18日(木)	高等部卒業式	19日(金)	卒業式	3月		21日(日)~4月3日(土)	短期留学(アメリカ)
	10月	1日(木)	追悼記念日礼拝	3月	24日(水)		退職者辞令交付式・送別会	21日(日)~4月3日(土)	短期留学(アメリカ)	22日(月)~25日(木)		スキー教室(志賀高原)	3月	22日(月)~25日(木)
16日(金)		後援会役員懇談会	24日(水)		退職者辞令交付式・送別会	23日(火)~26日(金)	聖書科学習旅行(沖縄)	23日(火)~26日(金)	聖書科学習旅行(沖縄)					

英和の植物通信

～目を近づければ楽しさ無限～ No.16

絵・文・写真：中池 敏之

(大学非常勤講師：博物館概論等担当)

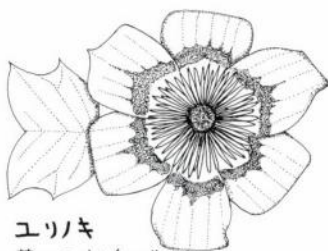


キブシ (横浜キャンパス)

キブシ (木五倍子、木付子)

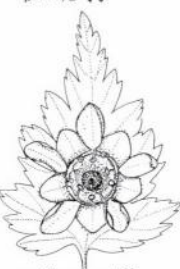
春の日を受けて、林縁には、花の暖簾がたくさん垂れ下がる。まるで春の店開きを告げるかのようで、さあ、春の林においてくださいといった趣である。この暖簾、キブシの淡い黄緑色の花が穂のように幾つも枝から垂れ下がった姿である。

この木は、子ども達にとっては大切である(あった)。短い枝を切って、笹などで一方から髓を押すとポンと良い音がして、髓が飛び出す。髓は、顔などに付けて遊ぶ。また、かつては、農村の重要な年中行事の「花割り」や「粥杖」もキブシの枝を利用した地域がある。



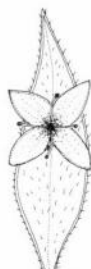
ユリノキ

花はユリやチューリップに似て見事。



コゴメウツギ

花の中心部は黄色に輝く。



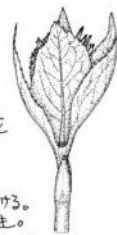
ハナヤエムグラ

花は淡い茶色。葉の縁は透明。



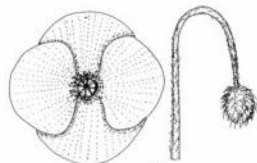
カルトリイバラ

雄花と雌花は株を分ける。めいべの先は毛が密生。



ヒトリシズカ

黒味と帯びた緑色の葉の中に白い花。



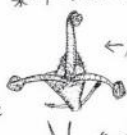
ナガミヒナゲシ

つぼみの時はガクがあり、花の時はガクが落ちてくる。



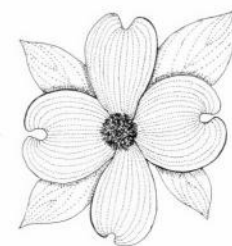
ニワトコ

一つの花は小さいが、たくさん集まっているので目立つ。



ヤマトキママンウク

花弁はじょうろに垂れている。



ハナミズキ

白やピンク色の総苞片が目立ち、ほとんどの花は中心部にある。

展示のご案内

「ウィリアム・メレル・ヴォーリス
恵みの居場所をつくる」

ヴォーリス建築の魅力を、貴重なオリジナル図面や写真、映像で紹介する展示です。学院からも旧講堂の天井タイル・照明器具などを出品、図録や絵葉書も販売されます。是非ご覧ください。

■会期 2009年4月4日(土)
～6月21日(日)

■会場 パナソニック電気汐留ミュージアム
(港区東新橋1-5-1パナソニック電気ビル4階)

■お問合せ
ハローダイヤル03-5777-8600

※5月17日には阿川佐和子さんの座談会もあります。
(要予約・先着順 定員150名)

<http://panasonic-denko.co.jp/corp/museum>

東洋英和女学院学院報 楓園 第56号

発行日：2009年4月22日

編集：広報委員会

発行：学校法人 東洋英和女学院
東京都港区六本木5-14-40
TEL 03-3583-3325

メールアドレス

koho@toyoeiwa.ac.jp

ホームページアドレス

<http://www.toyoeiwa.ac.jp>

同窓会新入会員のご紹介
卒業式と共に新入会員をお迎え致しました。同窓会の将来を担う若い皆様を心から歓迎致します。

高等部同窓会東光会 一八一名
大学同窓会楓美会 六〇二名
大学院同窓会 任意加入

同窓会総会のご案内
「総会は報告を聞くだけでつまらないから」と欠席する事に決めている方、思い切って出ていらっしやいませんか？ 年齢が離れていても、出身学部が違っていても、卒業後の生き方は各々別でも、この日、母校の暖かさに包まれて「同窓生は一つ」の思いを抱きます。

午前中に各会総会を終え、午後は全員が新マーガレット・クレイグ記念講堂に集まって礼拝を捧げます。大宮 溥牧師のお話を伺い、パイプオルガンの響きにあわせ讚美歌を歌いましょう。総会後は吉岡邦楽社中に素晴らしい演奏を聞かせて頂きます。終了後のお茶の会は自由な歓談の時、その間に行われますミニバザーも大変人気があります。是非お出かけ下さいませ。

東洋英和女学院同窓会総会

日時：2009年6月6日(土) 13:10より

会場：新マーガレット・クレイグ記念講堂(六本木校地)

礼拝説教：大宮 溥牧師(学院教学担当常務理事・阿佐ヶ谷教会名誉牧師)

奏楽：吉本 真理(パイプオルガン奏者・1965年高等部卒)

総会議事：前年度行事報告・決算報告・監査報告

今年度行事報告・予算案・新役員人事・承認

演奏会：吉岡邦楽社による邦楽演奏 代表：富元清英

(本名 吉岡もと子 1969年高等部・71年短大英文科卒)

終了後お茶の用意を致しておりますので、ご自由にご歓談下さい。15時40分終了予定。

各同窓会総会

保育部会 11:00 中上部小講堂

かえで会 11:15 中上部集会室

楓美会 11:30 本部・大学院棟

東光会 12:30 中上部小講堂

楓雅会 12:30 中上部集会室

大学院 12:30 本部・大学院棟